

## 【議案 3】

# ESD-J2017 年度 事業計画

<2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日>

## I. 2017 年度の活動方針

「国連 ESD の 10 年」の後、2015 年から ESD の第 2 ステージとしてグローバルアクションプログラム (GAP) の推進が合意され、「我が国における「グローバルアクションプログラム (GAP) 実施計画 (ESD 国内実施計画)」(持続可能な開発のための教育関係省庁連絡会議)の中に、ESD 推進ネットワークの形成と ESD 活動支援センター (全国・地方) の整備と効果的な運用が、政策的支援と地域コミュニティ関連の柱として記載され、2016 年 3 月から施行が始まっている。

更に 2015 年に国連が採択した SDGs・COP21 は、地球上に生きる誰もが、ともに、持続可能な社会をつかっていくためのチェンジエージェントとしての取り組みの覚悟と責任が重要であることを提案している。

この目標を達成するための「共有する価値として ESD」の推進は、益々、重要なカギとして確認されている。

ESD-J は、本年度、「マルチステークホルダー (MSH) 型の市民組織」としての特性を活かし、ESD 活動支援センター運営の責任を担うとともに、ESD 推進ネットワークの中間支援組織として下記の事業に取り組んでいく。

## II. 実施体制

### 1) ESD-J 運営体制

#### <役員等>

代表理事	阿部治、重政子
副代表理事	池田満之
理事	池田誠、大塚明、川村研治、小金澤孝昭、下村委津子、新海洋子、鈴木克徳、三隅佳子
監事	浅見哲、吉岡睦子
顧問	池田香代子、岡島成行、廣野良吉

#### \*2017 年度の事業分担

組織運営理事	阿部治、重政子、池田満之、鈴木克徳、川村研治
総務・労務・経理担当理事	重政子、池田満之、大塚明
センター事業担当理事	阿部治 (センター長)、重政子 (人事労務・経理総括) 鈴木克徳 (副センター長)
パンフレット制作担当理事	池田満之、川村研治

### 【議案 3】

ESD 推進支援グループ担当理事・・・ 小金澤孝昭、大塚明  
ステークホルダー間の連携担当理事

学校との連携担当・・・ 大塚明

国際協力、開発分野との連携担当・池田誠

地域担当理事

【北海道・東北】 小金澤孝昭 【関東】 川村研治 【北陸・東海】 新海洋子

【近畿】 下村委津子 【中国・四国】 池田満之 【九州・沖縄】 三隅佳子

#### <事務局>

事務局長 伊藤通子（短時間正職員、週 4 日、ESD-J 事務局勤務）

経理担当 後藤尚味（業務委託職員、週 2.3 日、ESD-J 事務局勤務）

庶務担当 山本香織（パートタイム職員、週 2~3 日、ESD-J 事務局勤務）

ESD 活動支援センター担当

総務担当 児玉実香（正職員、週 5 日、ESD 活動支援センター勤務）

※5月9日から

WEB 担当 渡辺五月（短時間正職員、週 4 日、ESD 活動支援センター勤務）

シニアアドバイザー 村上千里（パートタイム職員、16 日/年、ESD 活動支援センター）

事務補佐 川村まゆみ（パートタイム職員、5 時間週 5 日、ESD 活動支援センター勤務）

※5月15日から

## III 事業活動

### 1. ESD 活動支援センター事業

#### 【目標】

- ・地方 ESD 活動支援センター（「地方センター」、地域 ESD 活動推進拠点（「地域 ESD 拠点」）と連携して、地域レベル、広域レベル、全国レベルといった重層的なネットワークを形成し、多様な分野の多様な主体の間に、情報共有と学び合い、連携・協働を進め、学校や地域、職場等における ESD を広げる支援、深める支援に取り組んでいく。
- ・平成 29 年度は全国 8 ブロックにおいて、7 月を目途に 8 つの地方センターが開設される。また、地方センターによって地域 ESD 拠点の形成が開始されることになり、ネットワークの体制が本格的に整い始める。全国センターはこれらの動きを支え、地方センターと連携・協力し、ESD 推進ネットワークを発展させるために諸事業を実施することとする。

#### 【事業内容】

・「平成 29 年度 ESD 活動支援センター事業計画概要」《資料 1》（p 25~31）の通り。

### 2. 基盤整備、強化

## 【議案 3】

### 【目標】

開設 2 年目となる ESD 活動支援センター（以下、センター）事業と ESD-J 事業との相乗効果による ESD-J の活動目的達成のため、2016 年度に引き続き基盤強化を継続する。

### 【事業内容】

- ・事務局運営の整備  
事務作業の効率化、作業環境整備、各種規定等見直し、人材育成
- ・組織運営体制の整備  
各種会議の機能整理と実施
- ・書籍（テキストブック 2）の増刷と販売
- ・ESD-J ウェブサイト、パンフレット等情報発信媒体の検討  
※ 特にパンフレットは、これまでの ESD-J の活動の成果としてセンター設置が実現し、その運営にも ESD-J が培ったネットワークやノウハウが盛り込まれていること、また地域のネットワークが活かされていることがわかる内容とする。
- ・会員メーリングリスト等、会員間ネットワークの促進
- ・他機関との連携に関すること
- ・ESD-J 独自プロジェクトの立ち上げ準備に関すること

## 3. 会員の声・地域の声を ESD 活動支援センターの機能構築に反映させる事業

### 【目標】

「ESD の 10 年」の活動の中で ESD-J の会員を通じた日本の各地域やさまざまな分野の ESD 推進者の声を集め、提言としてまとめ政府や議員連盟に届けることにより ESD 活動支援センター（以下、センター）の設置が実現した。

今後は、この ESD 活動支援センターの活動を更に充実したものとし、会員を中心とした市民社会の声をセンター運営や機能に反映させることを通して、新しい官民協働型運営のモデル的公益センターの確立を目指す。

### 【事業内容】

- ・ESD-J 内に ESD 推進支援グループ（仮称）を形成する。  
（ESD 推進支援グループ（仮称）は新体制の理事に改選前の理事を加えたものとする。）
- ・ESD 推進支援グループ（仮称）は、広範なテーマを包含した政策提言を行うマルチステークホルダー型の市民組織という立場で ESD の推進を支援するために、会員同士の交流や学びあいを促進し、センターの機能構築へとつながる活動を行う。
- ・今年度は、「新学習指導要領」が発表され ESD の研修の必要性が高まることから、教員ネットワークを構築し教員や保護者の声を集めることに重点を置きたい。

## 4. 国際事業

### 【目標】

### 【議案 3】

- ・ ESD 活動支援センター、外務省及び全国の NGO 相談員との連携を図り、ESD の国際的活動に関する国内団体の活性化を図る。
- ・ ESD に関するアジア NGO ネットワーク（ANNE）の再活性化に向けた方策を検討する。

### 【事業内容】

- ・ アジア各国の ANNE メンバーと連絡を取り、次なる活動にむけたプロジェクト形成に関する検討を進める。
- ・ 外務省と共同し、国際的な ESD 活動に NGO 相談員がどのように貢献できるか意見交換を行う。
- ・ JICA 地球広場を通じて、国際的に活動する NGO と ESD 面でのつながりを強化する。

### 5. その他事業

- ・ ESD-J の目的を達成するために必要な事業を行う。

## 平成 29 年度 ESD 活動支援センター事業計画（概要）

ESD 活動支援センター（以下、「全国センター」）は、持続可能な社会の実現に向け、ESD に関わる多様な主体が、地域での取組を核としつつ、様々なレベルで分野横断的に協働・連携して ESD をより効果的に推進する ESD 推進ネットワークの全国的なハブ機能を担うべく、平成 28 年 4 月に関係省庁により、官民協働のプラットフォームとして東京都渋谷区に開設された。全国センターは、地方 ESD 活動支援センター（以下、「地方センター」）、地域 ESD 活動推進拠点（以下、「地域 ESD 拠点」）と連携して、地域レベル、広域レベル、全国レベルといった重層的なネットワークを形成し、多様な分野の多様な主体の間に、情報共有と学び合い、連携・協働を進め、学校や地域、職場等における ESD を広げる支援、深める支援に取り組んでいく。

平成 28 年度は、ESD 推進ネットワークにおける全国センターの役割に沿って、主に情報発信とネットワーク形成の基盤整備に取り組んできた。（P27 表 1）

平成 29 年度は全国 8 ブロックにおいて、7 月を目途に 8 つの地方センターが開設される。また、地方センターによって地域 ESD 拠点の形成が開始されることになり、ネットワークの体制が本格的に整い始める。全国センターはこれらの動きを支え、地方センターと連携・協力し、ESD 推進ネットワークを発展させるために諸事業（P28 表 2）を実施することとし、特に、以下の重点事業に取り組む。

### 平成 29 年度重点事業

#### 1. 地方センターとの連携・協力体制の形成

- 地方センターの開設及び地方センターによる地域 ESD 拠点の創出・形成のための基盤をつくる。（地方センターのウェブサイト、登録の仕組み等）
- 地方センターと協力してネットワーク形成を円滑かつ効果的に進めるため、ESD 活動支援センター（全国・地方）連絡会を開催する。

#### 2. 全国レベルの組織・団体との協力関係の強化に向けた場づくり

- ESD の推進に関心を持つ全国レベルの組織・団体（協力団体）との協力関係を強化するため、ESD の最新動向や取組の共有、連携・協働の可能性の検討に向けた意見交換を行う。

なお、全国センターが業務を行うに当たっては、以下の点に配慮する。

- (1) 地方におけるネットワーク形成は、地域 ESD 拠点の活動が活性化することを第一優先とし、地方センターが地域の特性等に配慮して決定するネットワークの形成プロセスや支援方法を尊重する。

(2) 全国センターはネットワーク形成において、全国で共通して取り組む必要がある事項を整理・提供するとともに、地方センターでは担えない支援を行う。

(3) 全国センターが担うべき主な役割は以下の3点

- ① 環境・開発・人権・平和・防災・消費・文化等の多様なテーマにおいて、全国レベルで ESD を推進する組織・団体と協力・連携関係の構築に取り組む。
- ② ESD を推進する人や組織、プログラム等を、広域ブロックを越えて紹介する。
- ③ 国際機関や海外の先進地域の情報を提供する等により、ESD に関する国際的な活動をつなぐ。

さらに全国センターは、ESD を推進する全国レベルの協力組織・団体等並びに地域 ESD 拠点のニーズを踏まえ、ESD を推進するための施策の企画提案や事業の企画・実施等を行う。

【表 1】平成 28 年度事業一覧（全国センターの役割と機能による整理）

	多様なテーマをつなぐ	地域をこえてつなぐ	国際的な情報をつなぐ
情報の収集・発信	●相談窓口 ●パンフレット ●ウェブサイト・SNS ●活動レポート 2016		
	●エコライフ・フェア、グリーンチャレンジデーにおける ESD ブースを企画・運営 ●協力団体発行のニュースレター等への寄稿		●国際フォーラム（ユネスコ/日本 ESD 賞海外受賞者の実践に学ぶ）
支援体制の整備	●ESD 活動支援企画運営委員会		
	●全国レベルのネットワークに係る可視化ツール・活用ガイドの開発	●地方センター設置準備のための意見交換会 ●講師派遣 ●関係者定例打合せ事務局 ●地方における ESD 関係団体リスト作成	
学び合いの促進 ネットワーク形成	●ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2016		
	●地域 ESD 拠点の形成支援（ESD 催事への共催、後援、職員派遣） ●協力団体開催の ESD 関連セミナー、研修等での講演、講師派遣		
	●オープニング式典 ●可視化ツールの開発 ●全国レベルのネットワーク団体、関係省庁への協力依頼		
人材育成		●若者世代による情報発信	

【表 2】平成 29 年度事業一覧（全国センターの役割と機能による整理）

★は平成 29 年度新規業務

	多様なテーマをつなぐ	地域をこえてつなぐ	国際的な情報をつなぐ
情報の取集・発信	●相談窓口 ●パンフレット ●ウェブサイト・SNS ●活動レポート 2017		
支援体制の整備	●企画運営委員会 ●可視化ツールの地方への展開検討		
		●ESD 活動支援センター（全国・地方） 連絡会 ●職員派遣 ●関係者定例打合せ事務局 ★地域 ESD 拠点登録業務 ★地域 ESD 拠点年次アンケート作成	
学び合いの促進 ネットワーク形成	●ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2017		
	●地域 ESD 拠点の形成支援（ESD 催事への共催、後援、職員派遣） ●協力団体開催の ESD 関連セミナー、研修等での講演、講師派遣		
	★ESD に関心を持つ全国組織との協力関係強化のため意見交換の機会の創出		
人材育成		●若者世代による情報発信 ★ユースの人材育成事業に関する取組の検討	



## 平成 29 年度 ESD 活動支援センター事業計画（詳細）

### 1. 相談窓口設置

ESD 活動実践者・実践団体等の、訪問、電話、メールでの相談や講師紹介を含む支援の要請に対し、対応する。ウェブサイトにも問い合わせ書式を用意する。

必要に応じて地方環境パートナーシップオフィス（EPO）、また、地方センター設立後は、地方センターと連携して対応する。

月曜日から金曜日の 10 時から 18 時までを相談・支援の窓口として開設する。

（土・日・祝日、12 月 29 日から 1 月 3 日は閉館）

### 2. ESD 活動支援企画運営委員会

学識経験者、自治体、NGO/NPO、企業、教育機関等の ESD 関係者 15 名程度からなる ESD 活動支援企画運営委員会（以下、「企画運営委員会」）の事務局を務める。

- 第 1 回企画運営委員会（5 月～6 月予定）  
議題案：地方センター設置準備状況共有、平成 28 年度事業評価  
平成 29 年度主要企画への助言（ESD 推進ネットワーク全国フォーラム等）等
- 第 2 回企画運営委員会（1 月～2 月予定）  
議題案：地方センター及び地域 ESD 拠点活動状況共有、次年度事業計画概要案への指導・助言

### 3. ESD 活動支援センター（全国・地方）連絡会（以下、「センター連絡会」）

平成 29 年 7 月を目途に開設される地方センター（設置前は EPO）との実務上の連絡調整及び ESD 推進ネットワーク全体に関わる必要事項の ESD 活動支援センター（全国・地方）案を決定する場として設定する。

- 第 1 回センター連絡会（4 月～5 月予定）  
議題案：地方センター設置準備状況共有、地域 ESD 拠点関係（地域 ESD 拠点年次アンケート、手続等）、年間日程調整（ESD 推進ネットワーク全国フォーラム含む）等
- 第 2 回センター連絡会（10 月頃予定）  
議題案：地方センター設置準備及び活動状況共有、地域 ESD 拠点関係（地域 ESD 拠点年次アンケート、手続等）、次年度事業計画の方向性等
- 第 3 回センター連絡会（1 月～2 月頃予定）  
議題案：地方センター活動状況共有、地域 ESD 拠点形成状況共有、次年度事業案計画概要等

### 4. 情報収集・発信

ESD 活動実践者等に対し、国内外の ESD 活動に関する情報を収集し発信する。

#### (1) リーフレット制作

平成 28 年度に作成したパンフレットを地方センター設置等の情報を加えて改訂し印刷する（40,000 部）。

リーフレットは、全国センターが活用するとともに、地方センターが主要なステークホルダ

ーに配布するために、各地方センターに送付する。地方センターには必要に応じて印刷用のデータを提供する。

## (2) ウェブサイト

### ① 全国センターウェブサイト

全国レベルのネットワーク組織や関係省庁の関連組織等の協力を得て、ESD の実践や推進に役立つ情報の収集と発信を行う。

- 新着情報（運用継続）
- ESD 活動支援センターとは（更新）
- 公募情報（アワード・表彰、研修・交流）（運用継続）
- 公募情報（助成金等）（新規）
- #（ハッシュタグ）ESD ワカモノ（運用継続）
- 海外の動き（新規）
- 教材・資料（新規：既存の教材データベースへのリンク集）
- 地方センターページ（新規）
- 地域 ESD 拠点ページ（新規）

### ② SNS

平成 28 年度に開設した、Facebook、twitter の運用を継続する。

## (3) 若者世代による情報発信

ESD のユースへの普及と、ユースのエンパワメントを目的として平成 28 年度に公募し採択した社会人ユース ESD レポーターによる活動を継続する。レポーターは自分の地域における ESD の取組に触れ、自らの視点で地域の ESD について執筆したレポートをセンターのウェブサイト「#ESD ワカモノ」で発信する。

## 5. ESD 推進ネットワーク構築

### (1) ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2017

ESD 推進ネットワーク全国フォーラム（以下、「全国フォーラム」）は、原則毎年 1 回、ネットワークの主たるステークホルダーが一堂に集い、ネットワーク形成の状況を共有するとともに、ネットワークが成長するための機会として開催する。

#### ● 目的

ESD 推進ネットワーク及び ESD 活動支援センター（全国・地方）の理解を広めるとともに、分野、セクターを越えて多様な主体が連携・協働して ESD を推進（質的向上・量的拡大）するために、お互いに面識をつくり／深めあい、実践例を基に学び合い ESD 推進の方策について意見交換を行い、協働の機会をつくることを目的とする。

- 参加者 ESD 推進者を中心に 150 名程度
- 日時 11 月 24 日（金）、11 月 25 日（土）2 日間（予定）
- 会場 東京都内（予定）
- 内容 グループディスカッションを含み、以下のセッションを設ける。
  - ・ ESD 推進ネットワークの理解を深めるためのセッション
  - ・ 全国各地の実践例を基に学び合いを可能とするセッション
  - ・ ネットワークを促進する意見交換及びネットワーク機会となるセッション
  - ・ ESD 推進の方法についての情報と意見交換のためのセッション、等

- 現場視察プログラム 開催前日（木）にあらかじめ登録した希望者を対象に現場視察プログラムを実施することを検討する。

## (2) 地域 ESD 拠点の形成支援

### ① 共催・後援・職員派遣

全国各地で開催される ESD 関連催事について、催事を共催または後援等することにより、それらの催事に参加し ESD 活動支援センター（全国・地方）及び ESD 推進ネットワークの存在及び全国センター、地方センターが行う支援内容等の周知に努める。

### ② 地域 ESD 拠点登録業務

ESD 活動支援センター（全国・地方）と連携して各地の ESD の質的向上、量的拡大を牽引する組織・団体を地域 ESD 拠点としてリストに登録する手続きを、地方センターと連携して行う。

### ③ 地域 ESD 拠点への年次アンケートの作成

ESD 推進ネットワークの推進にいかすため、リストに掲載された全ての地域 ESD 拠点を対象とする年次アンケート調査票を作成する。

年次アンケートの内容（案）

- 登録情報の更新に関すること
- 当該年度の支援実績に関すること
- 全国センター・地方センターへの要望
- その他

## (3) ESD 推進ネットワーク形成に係る可視化ツール

平成 28 年度から平成 31 年度までの ESD 推進ネットワークの形成を「可視化」するための参加型ツール（以下、「可視化ツール」）を作成し、運用する。

平成 28 年度にネットワーク可視化タスクフォース（以下、「可視化 TF」）によって作成された全国レベルのネットワークのための可視化ツールについて、運用結果の取りまとめを行うとともに、地方センター、地域 ESD 拠点を念頭においた広域ブロックでの活用について可視化 TF による検討を行う。

## 6. 年次報告書

ESD 活動支援センターの平成 29 年度の活動をまとめた年次報告書（活動レポート）を作成し、ESD 推進ネットワークの形成に資するために配布する。

## 7. 活動の更なる発展に向けた取組

### (1) 全国レベルの組織・団体との協力関係の具体化に向けた場づくり

ESD の推進に関心を持つ全国レベルの組織・団体（協力団体）との協力関係を強化するため、ESD の最新動向や参加団体の取組の共有、連携・協働の可能性検討に向けた意見交換を行う。

### (2) ユースの人材育成事業等に関する取組の検討

現在多様な主体により実施されている ESD 分野におけるユースの育成事業の現状を関係者と共有し、ユースへの取組の全体像を描き、今後必要となる取組を検討し、その実施に向けた準備活動を行う。